

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	藤田保健衛生大学短期大学	整理番号	2-1-002
応募テーマ	主として総合的取組に関するテーマ		
取組名称	実践力と創造力を体得する学際的卒業研究		
申請単位	短期大学全体		
申請担当者	原 臣司		
<p>(取組の概要)</p> <p>本学では、3年生を各自の関心と希望に応じて2・3人ずつの少人数に編成して学内だけでなく同一キャンパス内に併設されている医学部、衛生学部、総合医科学研究所、大学病院の基礎・臨床医学教室に配属し、密度の濃い学際的な卒業研究（3ヶ月間）を実施している。この卒業研究を通じて、学生は実践的な知識・技術の習得だけでなく患者中心のチーム医療に必要な協調性、責任感、コミュニケーション能力および自発的な問題解決能力等をさらに研鑽し、本学の教育目的である「良き医療人」になるためのインセンティブを高めている。加えて、卒業研究は学生の自主的な学習意欲を向上させ潜在している創造的な能力開発に資するとともに衛生学部4年次への進学等、多様な進路選択にも大きく裨益している。また、今後の実施計画として、近隣の大学・短期大学と卒業研究を共催しながら相互の教員・学生間の交流を促進し、本学教育のさらなる活性化を推進したいと考えている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、3年生を2～3人の小グループに分け、学内や併設の医学部、衛生学部、附属研究所等に配属し、短期間（3ヶ月間）密度の濃い卒業研究を体験させ、それによって学究精神や協調性をはぐくもうとするもので、「生命の尊厳」を重視する医療の実践に主体的に献身・奉仕できる良き医療人を育成するのに有効な取組です。学外機関の全面的な協力を得て、実習のための周到な準備をしているのが大きな特色です。このような教育の成果は、就職先で、専門的知識・技術、協調性、責任感、実務能力等において高く評価されていることや、国家試験および資格試験の高い合格率に見ることが出来ます。教育効果をさらに高めるため、「総合教育開発センター」の設置等の措置を通じてこの取組がさらに発展することが期待されます。</p>			